

1992年春季年会

講演予稿集

於 大阪学院大学

1992年5月13日(水)~15日(金)

日本天文学会

日本天文学会 1992年 春季年会

プログラム

月 日 1992年5月13日(水)～15日(金)

(第1日目は午前10時より;第2日目以降は午前9時より)

場 所 大阪学院大学5号館 〒564 大阪府吹田市岸部南2-36-1

電話 06-381-8434 (代) [会場案内図は227頁]

		9	10	11	12	13	14	15	休憩	16	17	18	19	20	時		
月 日	会場	分 野				分 野		分 野						講演番号			
5月13日 (水)	A	×	宇宙論				宇 宙 論	宇宙論	天体力学		×			A1-43			
	B	×	観測機器・情報処理			×	観測機器・情報処理	観測機器・情報処理			×			B1-46			
	C	×	太 陽				太 陽	太 陽			×			C1-46			
5月14日 (木)	A	恒 星			評 議 員 会	恒 星		デ ィ ス カ ッ シ ョ ン	総 会	懇 親 会				A44-85			
	B	観測機器・情報処理				観測機器 情報処理	我々の 銀 河				その 他						B47-87
	C	太 陽	太陽系			太陽系 天文	位置 星間 現象										C47-87
5月15日 (金)	A	恒 星			理 事 会	恒 星		恒 星			×			A86-135			
	B	銀河・銀河団				銀河・銀河団		銀河・銀河団			×				B88-137		
	C	星間現象				星間現象		星間現象			×				C88-134		

A会場：合同会議室A B会場：合同会議室B C会場：地下1階会議室 ×：使用しない時間帯 計 406

参加費 一般2,000円, 学生1,000円 予稿集配布価格 1,500円

1. 会期は3日間で、今回は3会場で行います。第1日目(5月13日(水))は午前10時から、第2・3日目は午前9時からとなります。昼食時間以外の休憩は、各日とも午後1回づつとることにしました。
2. 講演割当時間は7分です。
3. ポスターセッションの発表は、地下2階で行います。このセッションへの参加数は29で、該当する方へは案内書を送りました。なお第2日目午後4時からポスター講演のためのディスカッション用時間(休憩時間帯・30分)を設けました。
4. Post-deadline papersは5月12日(火)まで受け付けますが、ポスター発表とさせていただきます。
5. スライドは透視した時に正しい上下関係になるようにして、その手前側上方に講演番号と氏名、映写順の番号を書き、下縁に5mm位の赤線をつけて下さい。ピラは用いず、スライドまたはオーバーヘッドプロジェクターをご利用下さい。
6. ビデオプロジェクター(VHS)を3会場とも用意しました。
7. 懇親会は第2日目、午後6時から大学構内14号館で行います。
8. 公開講演会を年会最終日の15日(金)午後6時から大阪市中央公会堂で開催します。
講師(演題): 小川原義明氏(太陽観測衛星「ようこう」)
: 常田 佐久氏(「ようこう」軟X線のみた太陽)

◎総会予告

5月14日午後4時30分より平成4年度定期総会を開催します。会場は合同講義室A(A会場)です。

主な内容は、天体発見賞・研究奨励賞の贈呈案、平成3年度会務・会計報告、会計監査報告、平成4年度予算案、新評議員の承認、研究助成(仮称)案などです。

会場 A (合同講義室 A)

第1日 5月13日(水) 午前10時より 会場 A (宇宙論)

- A 1 重力効果を取り入れた量子トンネル現象：田中貴浩，佐々木節（京大理）
- A 2 $(2+1)$ 次元重力における真空泡のトンネル効果：吉野令晃，三島 隆（東工大理），鈴木ひろみ（東女大）
- A 3 Regge calculus を用いた一様非等方なインフレーション宇宙の進化：降旗康彦，佐藤勝彦（東大理）
- A 4 Evolution of Bubbles in Extended Inflation：坂井伸之，前田恵一（早大理工）
- A 5 Inflation 時に生成される背景重力波：中村信一，吉野令晃，小林史歩（東工大理）
- A 6 膨張宇宙における重力波からの密度摂動：冨田憲二（京大基研宇治）
- A 7 宇宙項を伴う膨張宇宙における重力波：真貝寿明，前田恵一（早大理工）
- A 8 トポロジーの粗視化と宇宙項：芹生正史（京大理）
- A 9 銀河密度揺らぎの大スケールにおける統計分布：横山順一（京大基研宇治），E.ガッタニャーガ（フェルミ研）
- A 10 Global Texture によるゆらぎの統計的性質：長澤倫康（東大理），横山順一（京大基研宇治），佐藤勝彦（東大理）
- A 11 Non-Gaussian Signatures from Gaussian Initial Fluctuation Fields：須藤 靖（京大基研），O. Lahav (IOA, Cambridge)，伊藤 誠（京大基研），稲垣省五（京大理）
- A 12 宇宙壁系による背景輻射の非等方性：窪谷浩人（京大理）
- A 13 宇宙初期の等曲率バリオン数揺らぎの確率分布：山本一博（京大基研宇治），長沢倫康（東大理），佐々木節（京大理），鈴木 博，横山順一（京大基研宇治）
- A 14 Peebles モデルでの宇宙背景輻射の非等方性：千葉尚志，杉山 直，佐藤勝彦（東大理），須藤 靖（京大基研宇治）

第1日 5月13日(水) 午後1時より 会場 A

- A 15 膨張宇宙での密度ゆらぎの非線形成長の法則性II：郷田直輝（京大理），A. L. Melott, S. F. Shandarin（カンザス大）
- A 16 宇宙のバリオンの分布と暗黒物質の分布：山下和之，佐々木節（京大理），杉山 直（東大理）
- A 17 CDM 優勢な宇宙における再加熱の影響：杉山 直，千葉尚志，佐藤勝彦（東大理）
- A 18 銀河形成による宇宙の再加熱・再電離：佐々木伸，高原文郎（都立大理），須藤 靖，牧野伸義（京大基研宇治）
- A 19 Domain Wall による大規模構造の形成：田 光江（通総研），山下和之，窪谷浩人（京大理）
- A 20 振動宇宙モデルとその宇宙論的観測の考察：柏野雄太，三原国子，川端 潔（東理大理）
- A 21 銀河の速度バイアスとその起源：杉之原立史（東大理）
- A 22 Lyman- α 雲の形成と進化：寺澤信雄（理研）
- A 23 Interaction between supersonic flow and a Lyman α Cloud：村上 泉，池内 了（国立天文台）
- A 24 QSO の吸収線系のイオン化状態：2成分モデル：傳田紀代美（東大理），池内 了（国立天文台）
- A 25 外部の密度分布の非等方性と超銀河団の進化：渡辺卓也（京大理）
- A 26 CDM モデルにおける宇宙論的 Sunyaev-Zel'dovich 効果：牧野伸義（広島大理，京大基研），須藤 靖（京大基研）
- A 27 Clusters of Galaxies as Cosmological Probes：上田晴彦（広大理，京大基研），伊藤 誠，須藤 靖（京大基研）
- A 28 X 線 Cluster の統計と階層的構造の進化：花見仁史（岩手大人文）
- A 29 銀河が連続した質量スペクトルを持つ場合の影響について：伊藤 誠（京大基研宇治），稲垣省五（京大理），W. C. Saslaw（ヴァージニア大）
- A 30 重力レンズ効果による宇宙論パラメータの制限：柴田貴之，川端 潔（東理大理）

休 息

- A 31 重力レンズの確率について：田越秀行（京大理），渡辺一也，冨田憲二（京大基研宇治）
- A 32 遠方銀河 IRAS F10214+4724 の CO $(3 \rightarrow 2)$ 干渉計観測：坂本 和*，川辺良平，石附澄夫*，石黒正人 他 NMA グループ（東大理*，国立天文台野辺山）
- A 33 乙女座銀河団における B バンドタリー-フィッシャー関係の研究：安田直樹，岡村定矩（東大理），福来正孝（京大基研）
- A 34 セファイドの近赤外 PL 関係と近傍銀河の距離：鹿野良平，岡村定矩（東大理），J. A. R. Caldwell（南アフリカ天文台）

- A 35 数値相対論における時間座標条件：柴田 大 (京大理), 中村卓史 (京大基研)
 A 36 Ewald 法専用計算機：WINE-1：福重俊幸, 牧野淳一郎, 奥村幸子, 戎崎俊一, 杉本大一郎 (東大教養)

(天体力学)

- A 37 Stormer 問題の積分不可能性：吉田春夫 (国立天文台), M. A. Almeida, I. C. Moreira (リオデジャネイロ連邦大)
 A 38 平面三体問題の Hill 安定性：中村 健 (洛陽女高), 吉田淳三 (京産大理)
 A 39 馬蹄型写像によるカオスについて：関口昌由 (木更津高専), 谷川清隆 (国立天文台)
 A 40 アポロ・アモール型小惑星における族：湯浅 学 (近畿大理工総研)
 A 41 土星衛星の軌道要素改良 (1970 年衝)：畑中至純 (国立天文台)
 A 42 赤道面傾角の永年変化による衛星軌道面の永年摂動：木下 宙 (国立天文台)
 A 43 冥王星の運動：中井 宏, 木下 宙, 吉田春夫 (国立天文台)

**第2日 5月14日 (木) 午前9時より 会場 A
 (恒星)**

- A 44 “ぎんが” による SS Cygni の観測：吉田健二, 井上 一 (宇宙研), 尾崎洋二 (東大理)
 A 45 白鳥座 X-3 光度曲線における 4.8 時間の周期変動について：平野 章, 北本俊二 (阪大理)
 A 46 白鳥座 X-3 からの X 線長期変動と電波バーストとの相関：渡部浩章, 北本俊二, 宮本重徳, 常深 博 (阪大理), Ralph Fiedler, Elizabeth Waltman, Ken Johnston, Frank Ghigo (NRL)
 A 47 Hard X-ray halo of Cyg X-3：加福佐和子 (埼玉大・理研), 松岡 勝, 山内 誠 (理研), 小山勝二 (京大理), 木舟 正 (宇宙線研)
 A 48 Cir X-1 のエネルギー・スペクトル：牧野至洋, 北本俊二, 宮本重徳 (阪大理)
 A 49 「ぎんが」でみた低質量 X 線連星 EXO 0748-676 の Eclipse：浅井和美, 長瀬文昭, 堂谷忠靖 (宇宙研), 他「ぎんが」チーム
 A 50 X1608-52 のエネルギー・スペクトル：上田佳宏, 満田和久, 吉田健二, 海老沢 研 (宇宙研), T. Yaqoob (Univ. of Cambridge)
 A 51 白鳥座 X-1 星からの時間変動 (3)：根来 均, 宮本重徳, 北本俊二 (阪大理)
 A 52 GS1124-68 よりの X 線の時間変動：宮本重徳, 伊賀小弓里, 北本俊二, 林田 清, 根来 均, 寺田健太郎 (阪大理)
 A 53 X 線新星とブラックホール候補星：北本俊二, 宮本重徳 (阪大理)
 A 54 ブラックホール候補星のエネルギー・スペクトルと短時間変動の激しさととの相関：寺田健太郎, 宮本重徳, 北本俊二, 伊賀小弓里, 根来 均 (阪大理)
 A 55 ブラックホール候補のランチ：堂谷忠靖, 滝沢 守, 海老沢 研 (宇宙研), 宮本重徳 (阪大理), 他「ぎんが」チーム
 A 56 “ぎんが” による GX 1 + 4 の観測：小谷太郎, 堂谷忠靖, 長瀬文昭 (宇宙研), ほか「ぎんが」チーム
 A 57 X 線パルサー X0115+634 のサイクロトロン吸収線：中村 浩 (埼玉大・理研), 吉田篤正, 寺澤信雄 (理研), 長瀬文昭 (宇宙研), 牧島一夫, 三原建弘 (東大理), 田村啓輔 (阪大理) ほか「ぎんが」チーム
 A 58 4U1700-37 と非サイクロトロン構造パルサーの類似性：三原建弘 (理研), 牧島一夫, 大橋隆哉 (東大理), 長瀬文昭 (宇宙研) ほか「ぎんが」チーム
 A 59 X 線パルサー X0331+53 の準周期的強度変動 (QPO)：竹島敏明 (理研), 長瀬文昭, 堂谷忠靖, 満田和久 (宇宙研)
 A 60 X 線パルサー Vela X-1 の HST/Ginga による共同観測 - I. 『ぎんが』観測による X 線特性：長瀬文昭, 浅井和美, 田中靖郎 (ISAS), D. McCray (JILA), T. Kallman (GSFC)
 A 61 再帰型 X 線連星パルサー X0115+634 の「ぎんが」による観測：田村啓輔, 常深 博 (阪大理), 他「ぎんが」チーム
 A 62 超新星残骸 RCW103 方向のパルサーの発見：青木貴史, 堂谷忠靖, 満田和久 (ISAS), 他「がんが」チーム
 A 63 パルサー磁場の非指数関数的進化：匹田 篤, 若月滋人, 伊藤直紀 (上智大理工)
 A 64 X 線パルサー Cen X-3 についてのフラクタル次元解析：兼武令子 (東北大理), 竹島敏明 (宇宙研), 牧島一夫 (東大理), 竹内 峯 (東北大理)

第2日 5月14日 (木) 午後1時より 会場 A

- A 65 激変星 H0253+193 のスペクトル変動：鎌田祐一 (名大理), 小山勝二 (京大理)
 A 66 強磁場激変星の周期的な硬 X 線の強度変動：石田 学 (宇宙研), 牧島一夫 (東大理), M. G. Watson, J. P. Osborne (Leicester 大)

- A 67 Crab パルサーの X 線観測：関本裕太郎，平山昌治，釜江常好（東大理），河合誠之（理研），他「ぎんが」チーム
- A 68 中性子星大気におけるサイクロトロン線：西村 治（東大教養）
- A 69 ホール電流の効果考えた中性子星の磁場の進化 II：内藤統也，小嵐康史（都立大理）
- A 70 「ぎんが」によるガンマ線バーストの観測：小賀坂康志，村上敏夫，西村 純（宇宙研），吉田篤正（理研），Edward E. Fenimore (LANL)，他「ぎんが」GBD チーム
- A 71 「ぎんが」ガンマ線バースト検出器による γ 線バーストの X 線観測：吉田篤正（理研），村上敏夫，小賀坂康志（宇宙研），西村 純（神奈川大），E. E. Fenimore（ロスアラモス国立研）
- A 72 γ 線バースト源の「ぎんが」，ROSAT 同時観測：村上敏夫，小賀坂康志（ISAS），吉田篤正（理研），B. Cooke (Leicester)，G. Ricker (MIT)
- A 73 Welcome-1 検出器による南天の硬 X 線/ γ 線観測：山岡典子，釜江常好，高橋忠幸，田中光明，郡司修一，田村忠久，宮崎 聡，関本裕太郎，平山昌治（東大理），能町正治（KEK），山上隆正（宇宙研），村上浩之（立教大理）
- A 74 タイプ Ia 超新星 1991T からのラインガンマ線の観測可能性：熊谷紫麻見，山岡 均，茂山俊和，野本憲一（東大理）
- A 75 ガンマ線バーストの理論モデル：中性子星と落下天体との電磁氣的相互作用：星野真弘，吉田篤正，河合誠之（理研），花見仁史（岩手大文）
- A 76 ガンマ線バーストの起源？：中村卓史（京大基研），柴崎徳明（立教大理），村上敏夫（宇宙研），吉田篤正（理研）
- A 77 超高密度星内部に於けるプラズマ・ニュートリノ過程：武藤晴彦，匹田 篤，伊藤直紀（上智大理工），神山泰治（富士総研）
- A 78 SN1987A の IMB 角度分布観測結果の球面統計：北村 崇，千川道幸（近大理研），小西健陽，辻 勝文（近大理工），小西幸子（帝塚山大）
- A 79 Ia 型超新星の late detonation model：山岡 均，茂山俊和，野本憲一（東大理）
- A 80 超新星残骸 1987A からの X 線放射の予測：鈴木知治，茂山俊和，野本憲一（東大理）
- A 81 連星系の超新星爆発：山田良透（京大理）
- A 82 自転重力崩壊の二次元数値実験：山田章一，佐藤勝彦（東大理）
- A 83 Ib/Ic 型超新星の爆発時における物質混合 II：蜂巣 泉（東大教養），松田卓也（京大工），野本憲一，茂山俊和（東大理）
- A 84 ブラックホール・フォースフリー磁気圏の電気回路モデル：岡本 功（国立天文台）
- A 85 ブラックホール磁気圏における MHD 降着流の時間変動：広谷幸一，高橋真聡，冨松 彰（名大理）

——ポスター・ディスカッション——

第3日 5月15日（金）午前9時より 会場 A

- A 86 ブラックホール周りの降着円盤中を伝わる音波の増幅機構：工藤哲洋，内田俊郎，須田綾子，鎌木 修（東北大理）
- A 87 大規模差分法専用計算機 DREAM1 の性能：大野洋介（東大理），蜂巣 泉，牧野淳一郎，戎崎俊一（東大教養）
- A 88 回転星の数値シミュレーションコードの開発：瓜生康史，江里口良治（東大教養）
- A 89 内部運動のある非軸対称ポリトロップの解法とデデキンドの定常解：江里口良治，瓜生康史（東大教養）
- A 90 高速回転する厚い自己重力円盤の構造：橋本正章（九大教養），江里口良治（東大教養），E. Müller（マックスプランク研）
- A 91 波動パターンを持つ降着円盤の光度変化：山田竜也，福江 純（大阪教育大）
- A 92 近接連星系降着円盤の潮汐不安定と物質流：廣瀬雅人，市川 晋，尾崎洋二（東大理）
- A 93 伴星による降着円盤のうける潮汐効果：市川 晋，廣瀬雅人，尾崎洋二（東大理）
- A 94 近接連星系降着円盤の潮汐不安定性と一本腕モード：尾崎洋二，広瀬雅人（東大理）
- A 95 One-Armed Adiabatic Oscillations in Polytopic Disks (II)：岡崎敦男（北海学園大教養）
- A 96 定常衝撃波を伴う降着流・星風の流体力学的不安定性 2：中山薫二（京大工）
- A 97 一本腕コルゲーション波の 2 次元固有振動：本間文雄（京大理）
- A 98 降着円盤における磁気乱流モデル：加藤正二（京大理），吉澤 徹（東大生産研）
- A 99 星周円盤の形成期における重力安定性：中本泰史，中川義次（東大理）
- A 100 Kerr 時空における外向き Wind の研究：林 満（千葉大），横沢正芳（茨城大理）
- A 101 Black-hole の周りの一般相対論的 toroid の runaway instability：西田昌吾，江里口良治（東大教養），A. Lanza (SISSA, Trieste)

- A 102 ブラックホール磁気圏におけるアルフベン波の性質：内田俊郎（東北大理）
 A 103 Super-fast MHD Winds における磁場形状の効果（II）：高橋真聡（愛知教育大）
 A 104 相対論的な回転星の振動と重力波：小嶋康史（都立大理）
 A 105 連想記憶による輻射輸達の反転解：上野季夫（京都コンピュータ学院）
 A 106 高速振動する A 型特異星のパワー・スペクトルの微細構造：高田将郎，柴橋博資（東大理）
 A 107 高銀緯脈動変光星 UU Her の線形非断熱模型：石田俊人（西はりま天文台），竹内 峯（東北大理）

第3日 5月15日（金）午後1時より 会場 A

- A 108 新吸収係数を用いた恒星脈動の再計算：高野 亮（東北大理），石田俊人（西はりま天文台），竹内 峯（東北大理）
 A 109 新星爆発における放射性元素の合成：和南城伸也¹，橋本正章²，野本憲一¹（¹東大理，²九大教養）
 A 110 古典新星の理論的光度曲線：加藤万里子（イリノイ大，慶応大），I. Iben（イリノイ大）
 A 111 白色矮星連星系 AM CVn のフレアのモデル：田辺健茲（岡山理科大）
 A 112 SU UMa 型矮新星の測光：加藤太一，平田龍幸（京大理）
 A 113 Nv Cyg 1992 の偏光測光観測：西城恵一（国立科学博物館），佐藤英男（東大理天文センター），加藤太一（京大理），菊池 仙（国立天文台堂平），岡崎 彰（群馬大教育）
 A 114 散逸効果を含む磁気星風：斎藤泰通（岩手大教育）
 A 115 Multiband Polarimetry of Be Stars II: h and χ Per : R. Hirata¹, D. N. Dawanas^{1,2}, C. Kunjaya^{1,2} and T. Horaguchi³ (¹Fac. of Sci., Kyoto University; ²Dept. of Astronomy, ITB; ³National Science Museum)
 A 116 Be 星 ζ Tau の分光解析 II：門 正博，小暮智一（京大理），鈴木雅一（金沢工大），M. Singh（Uttar Pradesh State Observatory, India）
 A 117 ZZ Psc の光電測光観測（III）：佐藤英男（東大理センター），西城恵一（国立科学博物館），中田好一（東大理），柳田達雄（統数研）
 A 118 FY Per の光学観測：岡崎 彰（群馬大教育）
 A 119 近接連星系 RZ Cas の測光解析：鳴沢真也，小川 慎，中村泰久（福島大教育）
 A 120 磁気特異星 HR7575 の吸収線同定：加藤賢一（大阪市立科学館）
 A 121 HgMn 星の Fe II 線強度比への Hg II 線の影響：比田井昌英，寿岳 潤（東海大文明研）

休 憩

- A 122 α peg の表面磁場と微小乱流速度：竹田洋一（東大理）
 A 123 NGC4374 に出現した超新星（1991bg）の測光観測：菊池 仙，三上良孝（国立天文台），加藤太一，平田龍幸，関根義之（京大理），近藤雅之，佐藤英男（東大理センター），中村泰久（福島大教育），西城恵一（国立科学博物館），岡崎 彰（群馬大教育），山岡 均（東大理）
 A 124 超新星の空間分布：香西洋樹（国立天文台）
 A 125 S 型星の波長 2-4 μm 域の赤外スペクトル観測：野口邦男（名大理），小林行泰（国立天文台）
 A 126 炭素星の近赤外絶対等級と IRAS の色指数について：三上孝雄（大阪学院大），石田憲一（東大理）
 A 127 晩期型巨星の星周ダストエンベロープのプロフィール：橋本 修（成蹊大工）
 A 128 M 型星 H₂O メーザーのピーミングと IRC プロジェクト：高羽 浩，岩田隆浩（通総研鹿島），三好 真（東大理），浮田信治（国立天文台野辺山）
 A 129 超巨星 μ Cephei における SiO メーザー空間分布：三好 真，亀野誠二，藤沢健太（東大理），高羽 浩，岩田隆浩，高橋幸雄（通総研鹿島），松本欣也（電通大），小林秀行（宇宙研），安田 茂（東北大），川口則幸，宮沢敬輔，浮田信治，井上 允，宮地竹史，御子柴 廣，森本雅樹（国立天文台野辺山）
 A 130 炭素星 S Sct の星周ガスの構造：山村一誠，尾中 敬，上條文夫（東大理），出口修至（国立天文台野辺山），泉浦秀行（東京学芸大）
 A 131 特異炭素星の炭素同位体組成比 III. SC 型星：大仲圭一，辻 隆，山村一誠，佐藤英男（東大理），野口邦男（名大理），岡田隆史（国立天文台 OAO）
 A 132 晩期 M 型巨星におけるイミド（NH）基の高分解能赤外スペクトル：辻 隆（東大理）
 A 133 炭素星 IRC+10216 での HC₃N の分布：高野秀路，斎藤修二（分子科学研）
 A 134 One Zone Modeling of Irregular Variability of Stellar Convective Envelope：海野和三郎（近畿大），熊 大 関（紫金山天文台）
 A 135 長周期赤色脈動変光星の周期光度関係の解釈：柴橋博資（東大理）

会場 B (合同講義室 B)

第1日 5月13日(水) 午前10時より 会場 B

(観測機器・情報処理)

- B 1 「ぎんが」 Faint X-ray Source Catalogue の作成：岩澤一司，粟木久光，鎌田祐一，国枝秀世，田原 譲 (名大理)，山内茂雄，小山勝二 (京大理)，他「ぎんが」チーム
- B 2 X線天文衛星 ASTRO-D の開発 (II)：田中靖郎，井上 一，他 ASTRO-D 衛星班 (宇宙研)
- B 3 宇宙研平行 X線光源：津坂佳幸，粟木久光，鈴木久則，山崎 孝，国枝秀世，田原 譲 (名大理)，小賀坂康志，山下廣順，伊藤真之，紀伊恒男，小川原嘉明 (宇宙研)，廿日出勇 (宮崎大工)
- B 4 ASTRO-D 搭載薄板多重 X線望遠鏡の X線試験：鈴木久則，津坂佳幸，山崎 孝，国枝秀世，田原 譲，粟木久光 (名大理)，小賀坂康志，伊藤真之，山下廣順 (宇宙研)，常深 博，林田 清，野本 進，和田幹生，宮田恵美 (阪大理)
- B 5 CCD による X線直接撮像装置の開発：常深 博，林田 清，野本 進，和田幹生，宮田恵美 (阪大理)
- B 6 ASTRO-D 用 X線望遠鏡の可視光による性能評価：山崎 孝，国枝秀世，津坂佳幸 (名大理)
- B 7 斜入射 X線望遠鏡の持つ鋭い結像ピークについて：国枝秀世 (名大理)，常深 博 (阪大理)
- B 8 Astro-D 搭載用位置検出型ガス蛍光比例計数管 (GIS)：池辺 靖，大橋隆哉，牧島一夫，田代 信，香村芳樹，上條俊介，石崎欣尚，深沢泰司 (東大理)，三原建弘 (理研)，鶴 剛 (京大)，井上 一，海老沢 研，石田学，上田佳宏，小谷太郎，藤本龍一 (宇宙研)
- B 9 ASTRO-D 衛星 GIS 装置の観測能力：大橋隆哉，牧島一夫，田代 信，香村芳樹，池辺 靖，石崎欣尚，深沢泰司 (東大理)，鶴 剛 (京大理)，三原建弘 (理研)，井上 一，石田 学，上田佳宏，海老沢 研 (宇宙研)，上條俊介 (富士通) ほか GIS チーム
- B 10 X線望遠鏡のサーマルシールドの開発：先間康博，田原 譲，山崎 孝，国枝秀世 (名大理)
- B 11 次世代薄板多重 X線望遠鏡の開発 (III)：田原 譲，栗山富成，先間康博，山崎 孝，国枝秀世 (名大理)，千田治光 (オークマ)
- B 12 HETE 衛星搭載用 X線観測装置：山内 誠，松岡 勝，河合誠之，吉田篤正，中村 浩，今井 喬，河野 毅，米田 晃 (理研)
- B 13 IRTS 計画の現状：村上 浩 (宇宙研)，他 IRTS グループ
- B 14 VSOP 衛星の製作——現況報告——：平林 久，広沢春任，小林秀行，西村敏充，三浦公亮，高野 忠，井上浩三郎，山本善一，名取通弘，小野田淳次郎，二宮敬虔，橋本樹明，大西 晃 (宇宙研)，森本雅樹，井上 允，近田義広，川口則行 (国立天文台野辺山)，春日 隆 (法政大)，折井 武，中川栄治，他 (日本電気)，三好一雄，井上登志夫，他 (三菱電機)，他

第1日 5月13日(水) 午後1時より 会場 B

- B 15 ユリシーズのドップラートッキングによる重力波検出実験：小山泰弘，高橋幸雄 (通総研鹿島)，L. Iess (イタリア)，IFSI)，G. Comoretto (イタリア，Arcetri 天文台)，B. Bertotti (イタリア，Pavia 大)
- B 16 FP 型レーザー干渉計プロトタイプ (III)：大橋正健，藤本真克，山崎利孝，福嶋美津広 (国立天文台)
- B 17 岡山多目的近赤外カメラ計画：山下卓也，海部宣男，渡辺悦二 (国立天文台)，西原英治 (総研大)，太田耕司 (京大理)
- B 18 赤外線カメラ (PICNIC) の開発：小林行泰，佐藤修二，三浦 均，和瀬田幸一 (国立天文台)，房 耕，峰崎岳夫 (東大理)，笠羽康正 (京大理)
- B 19 HgCdTe 128×128 赤外線カメラの感度の非線形性の補正：廣本宣久，片坐宏一，高見英樹，青木哲郎，水谷耕平 (通総研)，安田大輔 (東京理大)
- B 20 Si：P 中間赤外線検出器の開発 II：度曾英教，松本敏雄 (名大理)，村上 浩 (宇宙研)，大久保省吾 (東海大工)
- B 21 Stressed Ge：Ga 検出器 Responsivity の背景放射依存性：望月賢治^{1,2}，中川貴雄²，山下由香利^{1,2}，土井靖生^{1,2}，奥田治之²，矢島信之²，芝井 広²，広本宣久³ (¹東大理，²宇宙研，³通総研)
- B 22 近赤外分光偏光計 (PASP II)：竹内 拓，長田哲也，小林尚人 (京大理)，佐藤修二 (国立天文台)，高見英樹 (通総研)
- B 23 IRTS 搭載中間赤外分光器 (MIRS) II：尾中 敬，田辺俊彦 (東大理)，T. L. Roellig, T. J. McMahon (NASA Ames RC) 他，IRTS グループ
- B 24 気球赤外線干渉望遠鏡の開発：1. ミラー制御：八木豊児，河野嗣男 (都立科技大)，芝井 広，矢島信之，奥田治之，中川貴雄 (宇宙研)

- B 25 S-520-15号機による赤外観測——実験の概要——：松原英雄，田中昌宏，松浦周二，川田光伸，松本敏雄(名大理)，P. Mauskopf, J. Bock, V. Christov, A. Lange (カルフォルニア大パークレー)
- B 26 S-520-15号機搭載近赤外分光器：松浦周二，松原英雄，田中昌宏，川田光伸，野田 学，松本敏雄(名大理)
- B 27 S-520-15号機搭載遠赤外測光器：川田光伸，松原英雄，松浦周二，田中昌宏，松本敏雄(名大理)，J. Bock, P. Mauskopf, V. Christov, A. Lange (カリフォルニア大パークレー)
- B 28 すばる望遠鏡の建設始まる：唐牛 宏，すばるプロジェクト室(国立天文台)
- B 29 8m主鏡の鏡面研磨精度について：安藤裕康(国立天文台)
- B 30 すばる主鏡形状測定のための新しいゾーンプレート干渉計：本田捷夫，川本洋志，関海克，山口雅浩，大山永昭(東京工大)

休 憩

- B 31 すばる望遠鏡ドーム内気流の数値シミュレーション：海部宜男¹⁾，坪井一洋²⁾，宮腰佳代²⁾，長澤幹夫²⁾，宮下暁彦¹⁾，唐牛 宏¹⁾，安藤裕康¹⁾ (¹⁾国立天文台，²⁾計算流体力学研究所)
- B 32 「すばる」望遠鏡の波面補償光学系：家 正則(国立天文台)，早野 裕(東大理)，高遠徳尚(理研)
- B 33 イメージスタビライザによる光波面補償実験：早野 裕(東大理)，西川 淳(通総研平磯)，高遠徳尚(理研)，家 正則(国立天文台)
- B 34 アダプティブ光学の開発，II 曲率センサーによる大気揺らぎの測定：高見英樹，片坐宏一，廣本宣久，板部敏和，有賀 規(通総研)
- B 35 ドーム・シーイング測定実験：西原英治，家 正則，宮下暁彦，鳥居泰男，中桐正夫，野口 猛(国立天文台)，岡田隆史(国立天文台岡山)，高遠徳尚，早野 裕(東大理)
- B 36 ドーム内の熱環境の調査：定金晃三，岡野浩平(大阪教育大)，尾久土正己，黒田武彦(西はりま天文台)
- B 37 KISO-CCD I. 機械系：樽沢賢一，青木 勉，征矢野隆夫，吉田重臣(東大理木曾)，関口真木(国立天文台)，谷口義明(東大理)
- B 38 KISO-CCD II. 電気系の概要：征矢野隆夫，青木 勉，樽沢賢一，吉田重臣，中田好一(東大理木曾)，関口真木(国立天文台)
- B 39 KISO-CCD III. 性能テスト：青木 勉，吉田重臣，征矢野隆夫，樽沢賢一，中田好一(東大理木曾)，関口真木(国立天文台)
- B 40 8×2モザイク CCD カメラの概要と性能評価：柏川伸成，土居 守，岡村定矩(東大理)，関口真木(国立天文台)，東大理木曾観測所)
- B 41 世界初のシュミット望遠鏡甲グリズム分光システムの製作：谷口義明¹⁾，矢動丸 泰¹⁾，樽沢賢一²⁾，征矢野隆夫³⁾，青木 勉²⁾，浜部 勝²⁾，岡村定矩³⁾，高遠徳尚³⁾，石田憲一³⁾，市川伸一⁴⁾，家 正則⁴⁾，成相恭二⁴⁾，山下泰正⁴⁾，高木小枝¹⁾，菊本隆博¹⁾，佐藤康則¹⁾，佐野一雄⁵⁾ (¹⁾東大理，²⁾東大理木曾，³⁾東大理，⁴⁾国立天文台，⁵⁾島津製作所)
- B 42 光ファイバを用いた多天体分光器ヘッドの開発：能丸淳一，唐牛 宏，沖田喜一(国立天文台)，乗本祐慈(国立天文台岡山)
- B 43 光ファイバ増幅器の光学的特性：金光 理，平井正則，小林美知彦，宮脇亮介，久保宏之(福岡教育大)
- B 44 光学天体干渉計の観測実験V：佐藤弘一，久慈清助(国立天文台)
- B 45 チャンネルドスペクトルによる光路差補正システムの開発：馬場直志，荒谷道晴，三浦則明(北大工)
- B 46 赤外線スペックル干渉計：三浦 均，上野宗孝，近田義広(国立天文台)，奥村幸子，大野洋介，牧野淳一郎，蜂巣 泉(東大教養)，早野 裕(東大理)，西川 淳(通総研平磯)，片坐宏一(東大理センター)

第2日 5月14日(木) 午前9時より 会場 B

- B 47 スペックル分光データからのスペクトル線再生：桑村 進，馬場直志(北大工)，E. K. Hege (Univ. Arizona, Steward Obs.)
- B 48 ブラインドデコンボリューション法によるスペックルイメージング：三浦則明，馬場直志(北大工)，磯部琇三，野口本和(国立天文台)
- B 49 Lucy アルゴリズムを用いたブラインドデコンボリューション法による太陽像再生：圓谷文明，三浦則明，馬場直志(北大工)
- B 50 太陽磁場望遠鏡と H α 望遠鏡の基本設計：西川 淳(通総研平磯)
- B 51 太陽フレア望遠鏡プロジェクトIII. 制御系：西野洋平，桜井 隆，一本 潔，宮下正邦，今井英樹，入江 誠，佐野一成，野口本和，田中伸幸，篠田一也(国立天文台)，趙 昭旺(雲南天文台)
- B 52 ハイビジョン映像による日食画像解析：須川貴夫，青木清隆，大湊敏也(NHK)，日江井榮二郎(国立天文台)
- B 53 電波ヘリオグラフの総合特性：西尾正則，中島 弘，鷹野敏明，花岡庸一郎，柴崎清登，観目信三，鳥居近吉，塩見靖彦，沢 正樹，関口英昭，武士侯 健，川島 進，篠原徳之(国立天文台野辺山)，越石英樹(東大理)，能美 仁，本田耕三，篠原 博，高林利夫(日本電気)，森川洋行，北原康弘(赤阪鐵工所)，田中 茂，高木菊男(住友電工)

- B 54 電波ヘリオグラフによる太陽像：花岡庸一郎，柴崎清登，西尾正則，武士俣 健，舘目信三，入交芳久，川島 進，越石英樹，小杉健郎，中島 弘，沢 正樹，関口英昭，篠原徳之，塩見靖彦，鷹野敏明，鳥居近吉（国立天文台野辺山）
- B 55 MAXIMUM REDUNDANT 基線フリンジ観測：中島潤一¹⁾，乙部英一郎¹⁾，遊馬邦之²⁾，渡辺直企¹⁾，荒蒔義孝¹⁾，大師堂経明³⁾（¹早大理工，²草加高校，³早大教育）
- B 56 Spatial FFT Interferometer による 1 次元 beam 合成：乙部英一郎，中島潤一，渡辺直企，荒蒔義孝，大師堂経明（早大理工，教育），遊馬邦之（草加高校）
- B 57 2 次元超高速アレイプロセッサを用いた 3 次元観測：遊馬邦之（草加高校），大師堂経明，中島潤一，乙部英一郎，渡辺直企，荒蒔義隆，小原啓義，小松進一（早大理工，教育）
- B 58 非エルゴートの信号電波源の効率的サーベイ用 2 + 1 + 2 次元 FFT：大師堂経明，遊馬邦之，中島潤一，乙部英一郎，渡辺直企，荒蒔義隆，小原啓義，小松進一（早大教育，理工，草加高），西掘一彦，岩瀬清一郎（ソニー）
- B 59 通信総研における高安定ミリ秒パルサー観測（2）：花土ゆう子，木内 等，浜 真一，金子明弘，今江理人（通総研鹿島）
- B 60 野辺山ミリ波干渉計の広帯域化：森田耕一郎，神沢富雄，川口則幸，NRO 干渉計グループ（国立天文台野辺山）
- B 61 150 Hz 用干渉計 10 m アンテナ光学系の設計，高精度ミラー系製作：中島 潔，神沢富雄，川辺良平，服部邦彦（国立天文台野辺山），野田一房（雄島試作研究所）
- B 62 野辺山ミリ波干渉計の 100, 150 GHz 帯でのアンテナ効率，ビーム測定：服部邦彦，神沢富雄，高橋敏一，半田一幸，石黒正人（国立天文台野辺山），北村良実（鹿児島大医短）
- B 63 野辺山ミリ波干渉計の新観測制御システム：高橋敏一，森田耕一郎，神沢富雄，岩下浩幸，村田泰宏，石黒正人（国立天文台野辺山）
- B 64 ミリ波干渉計への多周波開口合成法の応用：鈴木美郁，石黒正人，森田耕一郎，川辺良平（国立天文台野辺山）
- B 65 GM 冷凍機冷却による SIS 受信機：粟山 透，畠山秀夫，高橋政彦，中込秀樹（東芝総研），岩下浩幸，川辺良平，G. McCulloch，柴田克典，浮田信治（国立天文台野辺山）
- B 66 150 GHz SIS 受信機の開発：岩下浩幸，川辺良平，G. McCulloch，坂本彰弘，中島 潔（国立天文台野辺山），砂田和良，坂本 和（東大理），山本正之（SHI）
- B 67 The NEW 150GHz RECEIVER for the NOBEYAMA 45 meter TELESCOPE：M. G. McCulloch, R. Kawabe, H. Iwashita, K. Nakajima, N. Ukita, K. M. Shibata, T. Umemoto（国立天文台野辺山）

第 2 日 5 月 14 日（木）午後 1 時より 会場 B

- B 68 AOS-H の 640MHz 化：大石雅寿，宮地竹史，海部宣男（国立天文台）
- B 69 東大-NRO 60 cm サブミリ波サーベイ望遠鏡の観測制御システム：半田利弘，長谷川哲夫（東大理センター），林 正彦，阪本成一，岡 朋治（東大理）
- B 70 4 メートル短ミリ波望遠鏡解析システムの開発：大西利和，長濱智生，水野 亮，小川英夫，福井康雄（名大理）
- B 71 白田 64 m 深宇宙探査用アンテナの鏡面精度計測に関する研究：西堀俊幸（上智大理工），平林 久，小林秀行（宇宙研），藤沢健太，大島由実（東大理）
- B 72 チリにおける LMA サイト候補地の調査：石黒正人，川辺良平，中井直正（国立天文台野辺山）
- B 73 4mφ レンズアンテナの開発：入交芳久，近田義広，浮田信治（国立天文台野辺山），白鳥 裕，越石英樹，半田利弘，阪本成一，砂田和良（東大理），松本欣也（電通大），面高俊宏（鹿児島大），平野尚美（一橋大），春日隆（法政大工）
- B 74 国内 VLBI ネットワークの拡張によるマッピング能力の向上：片桐征治（電通大），川口則幸，森田耕一郎（国立天文台野辺山），他国内 VLBI グループ
- B 75 NAO 簡易型相関器による高周波数分解能スペクトル：松本欣也（電通大），田村良明，浅利一善（国立天文台水沢），亀野誠二，三好 真（東大理），川口則幸（国立天文台野辺山）
- B 76 位相差追尾法による基線の推定：河野宣之，笹尾哲夫，亀谷 收（国立天文台）
- B 77 1mm 波国際 VLBI 観測：井上 允，川口則幸，宮地竹史，御子柴 廣，亀野誠二，松本欣也，森本雅樹（国立天文台野辺山），L. B. Baath (Onsala Space Obs), G. Sandell (JCMT), S. Padin (OVRO), T. Legg (Herzberg Inst), M. Wright (UCB)
- B 78 VSOP 観測の較正法および初期運用：小林秀行，平林 久（宇宙研），井上 允，他 VSOP チーム（国立天文台野辺山）
- B 79 サブミリ波観測ロケットのスターセンサ（1）：春日 隆（法政大工），サブミリ観測グループ（国立天文台野辺山）
- B 80 S-520-17 号機によるサブミリ波観測計画：松尾 宏，稲谷順司，宮沢敬輔，坪井昌人，久野成夫（国立天文台野辺山），奥村健市（東大理），春日 隆（法政大工），村上 浩（宇宙研）

- B 81 超並列計算機 CM2 による天体シミュレーション：長澤幹夫（計算流体研）
 B 82 画像処理パッケージ新版 SPIRAL：浜部 勝，市川 隆（東大理木曾）
 B 83 みんなで作ろう，IAU 天文道具箱！：福島登志夫（国立天文台）

（我々の銀河系）

- B 84 銀河系の渦度ベクトルは銀河面に垂直か？ I——Galactic Warp の Kinematics——：宮本昌典，相馬 充，吉澤正則（国立天文台）
 B 85 銀河系の渦度ベクトルは銀河面に垂直か？ II——銀河面に垂直な方向の銀河微分回転——：相馬 充，宮本昌典（国立天文台）
 B 86 「ぎんが³」衛星による銀河系の垂直方向スキャン観測：石崎欣尚，鶴 剛，大橋隆哉，牧島一夫（東大理），山内茂雄，小山勝二（京大理）

（その他）

- B 87 PASJ に投稿すべきか？ I. 1985 年に発表された日本の天文学・天体物理学論文の引用頻度：寿岳 潤（東海大文明研）

——ポスター・ディスカッション——

第3日 5月15日（金）午前9時より 会場 B

（銀河・銀河団）

- B 88 横向銀河の吸収輪郭：小平桂一（国立天文台）
 B 89 NGC 4350 の成分分解：水野孝雄，村山公保，中澤博之（東京学芸大）
 B 90 電波ローブエッジオン銀河 NGC 3079 の高分解 CO 観測：祖父江義明（東大理センター），J. IRWIN (Herzberg Inst. Canada)
 B 91 矮小不規則銀河における分子雲：佐々木 実（下関市立大），太田耕司，富田晃彦，齋藤 衛（京大理），中井直正（国立天文台野辺山）
 B 92 M 31 巨大分子雲における水素分子/CO 強度比：高林幹夫，祖父江義明（東大理センター），村田康宏（国立天文台野辺山）
 B 93 渦状銀河 M 51 に巨大分子雲を発見：瀧崎智佳¹，谷口義明¹，川辺良平²（¹東北大，²国立天文台野辺山）
 B 94 野辺山ミリ波干渉計 150 GHz 試験観測 (II) 系外銀河：石附澄夫*，石黒正人，岩下浩幸，大橋永芳，川辺良平，神沢富雄，坂本 和，柴田克典，鈴木美都*，高橋敏一，中島 潔，服部邦彦，半田一幸，G. McCulloch，村田泰宏，森田耕一郎（東大理*，東北大，国立天文台野辺山）
 B 95 Pt Si 赤外カメラによる銀河の撮像観測：太田耕司（京大理），上野宗孝，小平桂一（国立天文台）
 B 96 Nuclear Plumes in Hot-Spot Galaxy NGC2782：若松謙一（岐阜大），西田実継（神女大），祖父江義明（東大理センター）
 B 97 Arp 215 の HI tail と銀河の潮汐作用：沢 武文（愛知教育大）
 B 98 球状星団と衛星銀河の形成：隈井泰樹，藤本光昭（名大理）
 B 99 合体銀河のコアでの black hole binary の進化：牧野淳一郎，福重俊幸，奥村幸子，戎崎俊一（東大教養）
 B 100 銀河合体に伴う巨大ブラックホールの合体による重力波バースト：戎崎俊一，福重俊幸，牧野淳一郎（東大教養）
 B 101 Stripping による cD galaxy の形成：船渡陽子，牧野淳一郎，戎崎俊一（東大教養）
 B 102 銀河円盤の進化とガスの動径分布について：塩谷泰広，千葉柁司（東北大）
 B 103 銀河中心核の間欠的活動性：福長正考（東北大）
 B 104 ボルツマン方程式の衝突項への粗視化の影響：土屋俊夫，郷田直輝（京大理）
 B 105 ディスク・ポテンシャル中の粒子の非等方的速度分散：井田 茂，小久保英一郎，牧野淳一郎（東大教養）
 B 106 Violent Relaxation の最終状態について：野桜俊也（北大）
 B 107 Lynden-Bell mechanism に関する疑惑 II：古屋奈津美，稲垣省五，加藤正二（京大理）
 B 108 一般化変分原理の恒星系 Fokker-Planck 方程式への応用 II：高橋広治，稲垣省五（京大理）
 B 109 粒子系で gravothermal expansion は起こるか？ II：稲垣省五（京大理），S. W. L. McMillan (Drexel 大)，D. C. Hoggie (Edinburgh 大)

第3日 5月15日（金）午後1時より 会場 B

- B 110 二体散乱による緩和時間：山城稔暢（京大理）
 B 111 2成分重力系の進化と“赤色巨星”構造：藤本正行¹，杉山 清²，富阪幸治¹（¹新潟大教育，²諏訪西中学）

- B 112 Structure of Obscuring Molecular Tori in Seyfert Nuclei : 三分一清隆, 福江 純 (大阪教育大)
- B 113 活動銀河核降着円盤のスペクトル : 嶺重 慎^{1,2}, Randy R. Ross^{2,3}, Andy C. Fabian² (1京大理, ²IoA Cambridge, ³Holy Cross Coll. Worcester)
- B 114 AGN の共生降着円盤モデル : 中村香織, 尾崎洋二, 廣瀬雅人, 市川 晋 (東大理)
- B 115 バルジの形成と化学進化 : 辻本拓司, 野本憲一 (東大理)
- B 116 銀河形成期の starburst による galactic bulge 形成 : 和田桂一, 羽部朝男 (北大理)
- B 117 スターバーストウインド : 横尾武夫, 福江 純 (大阪教育大), 谷口義明 (東北大理)
- B 118 ブラックホールへの降着磁気流体中のエネルギー・角運動量輸送 : 横沢正芳 (茨大理)
- B 119 輻射優勢な天体ジェットの収縮について : 近藤正明 (専修大)
- B 120 Tera-flops machine GRAPE-5 用プロセッシングボードの開発 : 奥村幸子, 牧野淳一郎, 戎崎俊一, 伊藤智義, 福重俊幸, 杉本大一郎 (東大教養)
- B 121 UKAI による PKS 1830-211 の観測 : 藤沢健太 (東大理), 平林 久, 小林秀行 (宇宙研), 西堀俊幸 (上智大理工), 岩田隆浩, 高羽 浩 (通総研鹿島)
- B 122 CSS 電波源の VLBI 観測 : 亀野誠二 (東大理), 井上 允, 宮地竹史 (国立天文台野辺山), 岩田隆浩, 高羽 浩, 高橋幸雄 (通総研), T. Venturi (Bologna), 南仁東 (北京天文台), 松本欣也 (電通大)
- B 123 BL Lac 天体とクェーサーの光学モニター観測 : 尾久土正己 (西はりま天文台)

休 憩

- B 124 NGC1275 の狭帯域撮像観測 : 馬場 歩, 吉田道利, 小杉城治, 大谷 浩 (京大理)
- B 125 吸収線によるセイファート銀河 NGC1068 の恒星系の運動学的研究 : 青木賢太郎, 大谷 浩, 小杉城治, 吉田道利, 馬場 歩 (京大理), 兼古 昇 (北大理), 佐々木 実 (下関市立大), 外山清高 (北海道情報大), 佐藤哲也 (北海道立倶知安農業高校), 佐々木敏由紀, 清水康弘, 小矢野 久 (国立天文台岡山)
- B 126 電波銀河 Cyg A の X 線観測 : 上野史郎, 山内茂雄, 小山勝二 (京大), Martin. J. Ward (U. Oxford)
- B 127 セイファート銀河 NGC5506 と NGC4151 の軟 X 線スペクトルの変動 : Bond, Ian, 山内 誠, 松岡 勝, 寺沢信雄 (理研), 他「ぎんが」チーム
- B 128 「ぎんが」, ROSAT による AGN の同時観測 : 榎野文命, 紀伊恒男, 大谷知行 (宇宙研), 大橋隆哉, 田代 信 (東大理), 河合誠之, 岡保利佳子 (理研), H. H. Fink (Max-Planck Institute), M. J. L. Turner (Univ. of Leicester), O. R. Williams (ESTEC) 他, 「ぎんが」チーム
- B 129 BL Lac 天体の X 線スペクトルの変動 : 田代 信, 大橋隆哉, 牧島一夫, 印田美香, 香村芳樹 (東大理), S. Sembay (Leicester 大), 榎野文命 (宇宙研), ほか「ぎんが」チーム
- B 130 BL Lac 天体 H0323+022 からの X 線の時間変動 : 香村芳樹, 大橋隆哉, 牧島一夫 (東大理), 榎野文命, 紀伊恒男 (宇宙研)
- B 131 OVV クェーサー 3C279 の活動期の電波- γ 線スペクトル : 藤本龍一, 榎野文命, 紀伊恒男, 大谷知行 (宇宙研), 大橋隆哉 (東大理), M. J. L. Turner (Univ. of Leicester), O. R. Williams (ESTEC)
- B 132 銀河面に隠された銀河の 3 次元分布 : 高田唯史, 斎藤 衛 (京大理)
- B 133 Puppis “The Hidden Attractor” : 山田 亨, 富田晃彦, 高田唯史, 斎藤 衛 (京大理)
- B 134 Poor Cluster の X 線観測 III : 深沢泰司 (東大), 鶴 剛 (京大), 池辺 靖, 大橋隆哉, 牧島一夫 (東大理), 廿日出 勇 (宮崎大), 小山勝二 (京大), 山下廣順 (名大), M. Arnaud (saclay), W. Forman, C. Jones (CfA)
- B 135 Poor Cluster の X 線観測 IV : 鶴 剛, 深沢泰司, 池辺 靖, 大橋隆哉, 牧島一夫 (東大・理), 廿日出 勇 (宮崎大工), 山下廣順 (宇宙研), 小山勝二 (京大理), W. Forman, C. Jones (CfA), M. Arnaud (Saclay)
- B 136 乙女座銀河団のホットガスと重元素の起源 : 岡崎 匡, 千葉征司 (東北大理), 隈井泰樹 (名大理)
- B 137 鉄と銀河団と銀河形成と γ -ray burst : 服部 誠, 寺沢信雄 (理研)

会場 C (地下1階会議室)

第1日 5月13日(水) 午前10時より 会場C
(太陽)

- C 1 2次のWKB近似による太陽内部構造診断：西澤 隆，柴橋博資（東大理）
- C 2 境界層ダイナモの非線形挙動：桜井健郎（京大工）
- C 3 太陽黒点の自転速度：鈴木美好（三重県立津高等学校），久保田諄（京大花山天文台）
- C 4 LONG-TERM 55-YEAR SOLAR GRAND CYCLE CHANGE OF THE DIFFERENTIAL ROTATION（東大理）
- C 5 DISCOVERY OF SECULAR ACCELERATION OF THE SOLAR ROTATION：Hirokazu Yoshimura and Maspul Aini Kambry*（東大理）
- C 6 太陽風加速領域のIPS観測：三澤浩昭，山内洋平，小島正宜（名大STE研），Wm. A. Colse (UCSD) Ruth Esser (Cambridge Univ.)，Unni-Pia Løvhaug (EISCAT)，Jussi Markkanen (Geophysical Obs.)
- C 7 MHD解析による太陽圏外圏の研究(II) 3次元解析：野澤 恵，鷲見治一（名大STE研）
- C 8 太陽表面温度分布に対応した太陽風プラズマ中の微細構造の生成について：藤原朋子（愛知教育大），鷲見治一（名大STE研）
- C 9 フレア望遠鏡の磁場データの較正：一本 潔，桜井 隆（国立天文台）
- C 10 太陽H α フレアの自動検出システム：田中伸幸，末松芳法，岡本富三，代情 靖，宮崎英昭，入江 誠，今井英樹，熊谷収可，西野洋平，宮下正邦，野口本和，福島英雄，篠田一也，山口喜助，柴田一成（国立天文台）
- C 11 Complex of Activity of the 崩壊期 (NOAA6703) に発生した X1.9/4B フレア：秋岡真樹（通総研平磯），小路真木子，船越康宏（京大理），Zhang Hongqi, Ai Guoxiang (北京天文台)
- C 12 コロナ輝線とH α 線で観測されたループプロミネンス：宮崎英昭，代情 靖（国立天文台）
- C 13 1991年6月のミリ波バースト：崔 容碩（東大理），中島 弘，鯉目信三（国立天文台野辺山）
- C 14 電波ヘリオグラフによる太陽活動域の観測：鯉目信三，太陽電波グループ（国立天文台野辺山・三鷹）

第1日 5月13日(水) 午後1時より 会場C

- C 15 太陽高エネルギー粒子の化学組成， ^3He 過剰，短時間加速：大澤幸治（名大プラズマ科学センター）
- C 16 Long-Term Observations of the Solar Corona Using the Yohkoh Soft X-Ray Telescope：Y. Ogawara (ISAS), S. Tsuneta (Institute of Astronomy, University of Tokyo), L. Acton, M. Bruner, J. Lemen, K. Strong, H. Hudson, G. Slater, M. Morrison, S. Freeland (LPARL)
- C 17 Global Restructuring of Coronal Magnetic Fields as Observed with Yohkoh Soft X-Ray Telescope：T. Takahashi, S. Tsuneta (Institute of Astronomy, University of Tokyo), L. Acton (LPARL), Y. Ogawara (ISAS), K. Harvey (Kitt Peak), N. Nitta (LPARL)
- C 18 FINE MAGNETIC THREADS AND THEIR TIME-VARIATION IN THE SOFT X-RAY EMITTING STRUCTURES OBSERVED BY YOHKOH：A. McAllister¹, Y. Uchida¹, S. Tsuneta¹, P. Martens², L. Acton², M. Bruner², and J. Lemen² (¹Univ. Tokyo, ²LPARL)
- C 19 FINDING OF CONTINUAL EXPANSION OF MASS AND MAGNETIC FLUX FROM ACTIVE REGIONS WITH THE YHOKOH SOFT X-RAY TELESCOPE：Y. Uchida¹, A. McAllister¹, K. Strong², Y. Ogawara³, R. Matsumoto⁴, and H. S. Hudson⁵ (¹Univ. Tokyo, ²LPARL, ³ISAS, ⁴Chiba Univ., ⁵Univ. Hawaii)
- C 20 Observations of X-ray Jets using Yohkoh Soft X-ray Telescope：Shibata, K. (NAOJ), Ishido, Y. (Aichi U. Edu.), Acton, L., Strong, K. (Lockheed), Hirayama, T. (NAOJ), Uchida, Y. (U. Tokyo), and SXT team
- C 21 Rigid Rotation of "Coronal Dark Channels" as Observed by the Yohkoh Soft X-ray Telescope：K. Hayashi, S. Tsuneta, T. Shimizu, T. Takahashi, H. Hara (Inst. of Astronomy, U. of Tokyo), Y. Ogawara (ISAS), H. Yoshimura (Dept. of Astronomy, U. of Tokyo), M. Bruner, L. Acton (LPARL)
- C 22 Search for Coronal Mass Ejections Using the YOHKOH Soft X-Ray Telescope；An Example Observed on November 12, 1991：M. Ohyama, and T. Watanabe (STELAB, Nagoya Univ.)；S-I. Watari (Hiraiso STRC. CRL)；and J. A. Klimchuk (Stanford Univ.)
- C 23 Coronal and Interplanetary Consequences of a Solar-Filament Disappearance Observed with YOHKOH SXT on 28 September 1991：T. Watanabe, M. Kojima, and M. Ohyama (STELAB, Nagoya Univ.)；S. Tsuneta (Univ. of Tokyo)；L. W. Acton (Lockheed Palo Alto Res. Lab.)；K. L. Harvey (Sol. Phys. Res. Coop.)，J. A. Joselyn (NOAA)；and J. A. Klimchuk (Stanford Univ.)

- C 24 Observation of Coronal Holes and High-speed Solar Wind using the Yohkoh Soft X-ray Telescope : Shin-ichi Watari (Hiraiso Center, Communications Research Lab.) Takashi Watanabe and Masamitsu Ohya (STE Lab., Nagoya Univ.)
- C 25 CONFIRMING A MODEL OF THE CORONAL SHEET REVERSAL USING THE YOHKOHOFT X-RAY TELESCOPE : Saito, T.^{1,2}, Y. Kozuka³, S. Tsuneta⁴ and T. Takahashi² (¹Geophysical Institute, Tohoku University, ²Onagawa Magnetic Observatory, Tohoku University, ³Solar-Terrestrial Environment Laboratory, Nagoya University, ⁴Institute of Astronomy, The University of Tokyo)
- C 26 Temperature Analysis of Solar Active Regions with the Soft X-Ray Telescope aboard Yohkoh : H. Hara, S. Tsuneta (Institute of Astronomy, University of Tokyo), J. Lemen, L. Acton (LPARL), J. McTiernan (U. of California, Berkeley)
- C 27 Temperature Structure of Solar Flares Observed by the Soft X-Ray Telescope on Yohkoh : J. M. McTiernan, S. R. Kane and J. M. Loran (Univ. of California, Berkeley)
- C 28 「ようこう」軟X線望遠鏡による活動域 transient brightening の観測 : T. Shimizu, S. Tsuneta (Institute of Astronomy, University of Tokyo), Y. Uchida (Department of Astronomy, University of Tokyo), J. Lemen (LPARL)
- C 29 Observations of Magnetic Field Structure in an Active Region using the Yohkoh Soft X-ray Telescope and the Solar Flare Telescope : S. Kawakami (Osaka Museum of Science), K. Ichimoto, T. Sakurai (National Astronomical Observatory), S. Tsuneta (Univ. of Tokyo), N. Nitta, M. Bruner (Lockheed Palo Alto Research Laboratory)
- C 30 X-ray Observations of Emerging Flux Region using the Yohkoh Soft X-ray Telescope : Ishido, Y. (Aichi U. Edu.), Shibata, K., Tanaka, N. (NAOJ), Kawai, G., Kurokawa, H. (KyotoU.), Nitta, N. (Lockheed), and SXT team

休 憩

- C 31 Comparison between H α and Yohkoh Soft X-ray Images of Emerging Flux Regions : G. Kawai¹, H. Kurokawa¹, S. Tsuneta², K. Shibata³, N. Nitta⁴, L. Acton⁴ and K. Strong⁴ (¹Kyoto Univ, ²Univ of Tokyo, ³NAOJ, ⁴Lockheed)
- C 32 X-ray Observations of Preflare-Flare-Postflare Regions with the Yohkoh Soft X-Ray Telescope : S. Tsuneta, H. Hara (Institute of Astronomy, University of Tokyo), H. Hudson (U. of Hawaii), J. Lemen, L. Acton (LPARL), B. Bentley (MSSL), T. Hirayama (NAO)
- C 33 COMPARISON BETWEEN H α AND YOHKOHOFT X-RAY IMAGES OF THE 5 DEC. 1991 FLARE : H. Kurokawa, G. Kawai, T. Kitahara (Faculty of Sci., Kyoto Univ.), S. Tsuneta (Faculty of Sci., Univ. Tokyo), T. Kosugi, S. Enome (N. A. O.)
- C 34 FLARE-TRIGGERED ACTIVE PHENOMENA IN AN ACTIVE REGION NOAA6952 ON DECEMBER 4, 1991 : R. Kitai, Y. Funakoshi, Y. Nakai, H. Kurokawa (Kwasan and Hida Obs., Kyoto Univ.) and S. Tsuneta (Univ. of Tokyo)
- C 35 Observations of 30 Flares occurred during Nov. 1-Nov. 20 using the Yohkoh Soft X-ray Telescope : Kato, Y. (Aichi U. Edu.), Shibata, K. (NAOJ), Tsumeta, S. (Tokyo U.), Lemen, J. (Lockheed), and SXT team
- C 36 Flare-Related Relaxation of Magnetic Shear as Observed with the Soft X-ray Telescope of Yohkoh and with the Solar Flare Telescope : T. Sakurai, K. Shibata, K. Ichimoto (National Astronomical Observatory), S. Tsuneta (University of Tokyo), L. W. Acton (Lockheed Palo Alto Res. Lab.)
- C 37 Yohkoh Soft-X-ray Imaging Analysis of Chromospheric Evaporation : K. Akita (Osaka Gakuin U.), J. Lemen, M. Bruner (LPARL), T. Watanabe (NAO), R. Bentley (MSSL), A. Sterling (CPI)
- C 38 Classification of Magnetic Reconnection during Two Current Loop Coalescence : Shinji Koide and Jun-ichi Sakai (Toyama Univ.)
- C 39 Dynamics of Physical State during Two Loops Collision : Bidzina Chargeishvili¹, Jie Zhao, and Jun-ichi Sakai (Toyama University)
- C 40 Direct Measurement of Electron Density in Flares using Yohkoh Soft X-ray Telescope and the New Coronagraph : Hirayama, T., Yamaguchi, A., Kumagai, K., Ichimoto, K. (NAOJ), Hara, H., Tsuneta, S. (U. Tokyo), Acton, L., (Lockheed), and SXT/Norikura team
- C 41 Sunspot Proper Motion Study using the Yohkoh Soft X-ray Telescope Optical Images : B. Anwar, M. Makita, H. Kurokawa, D. Herdiwijaya (Univ. Kyoto), H. Hudson (Univ. Hawaii), A. Sterling (CPI)
- C 42 White Light and Hard X-rays in Solar Flares observed by Yohkoh : Time Profiles : H. S. Hudson (U. Hawaii), L. W. Acton (LPARL), T. Hirayama (NAOJ), and Y. Uchida (U. Tokyo)

- C 43 Hard X-ray Solar Flares Observed with HXT aboard YOHKOH : T. Kosugi, T. Sakao, S. Masuda (NAOJ), K. Makishima, M. Inada, K. Matsushita, K. Yaji (Univ. of Tokyo), T. Murakami, Y. Ogawara (ISAS) and the HXT Group
- C 44 フレア硬 X 線源の平均的な高さ: 松下恭子 (東大理), 小杉健郎 (国立天文台), 増田 智 (東大理), 他 HXTgroup
- C 45 Hard and Soft X-ray Observations of the Nov. 15, 1991 Flare : T. Sakao (NAOJ), R. Canfield, H. Hudson (Univ. of Hawaii), L. Acton (Lockheed), S. Tsuneta (Univ. of Tokyo), S. Kane (UC Berkeley) and the HXT Group
- C 46 A Triple-Spike Flare Observed with HXT : 矢治健太郎 (東大教養), 桜井 隆 (国立天文台), 清水敏文 (東大理), 「ようこう」HXT グループ

第2日 5月14日 (木) 午前9時より 会場 C

- C 47 Hard and Soft X-ray Observations of Dec. 2, 1991 Flare : S. Masuda, T. Tsuneta (Univ. of Tokyo), H. Hudson (Univ. of Hawaii), J. Lemen (Lockheed) and the HXT Group
- C 48 「ようこう」HXT で見た太陽フレアの硬 X 線像——4 エネルギー・バンドの像の比較——: 印田美香, 高倉達雄, 牧島一夫 (東大理), 小杉健郎, 坂尾太郎 (国立天文台), 他 HXT グループ
- C 49 「ようこう」による硬 X 線スペクトル観測: 大木健一郎 (国立天文台), 吉森正人, 高井幸夫, 森本幸司, 須賀一治 (立教大理)
- C 50 「ようこう」広帯域スペクトル計によるフレア観測: 吉森正人, 高井幸夫, 森本幸司, 須賀一治, 奥平清昭, 平島 洋 (立教大理), 大木健一郎, 渡辺鉄哉 (国立天文台), 高橋正昭 (東海大理), 西村 純 (神奈川大工), 山上隆正 (宇宙研), 近藤一郎 (芝浦工大)
- C 51 「ようこう」による γ 線の観測: 森本幸司, 吉森正人, 高井幸夫, 須賀一治 (立教大理), 大木健一郎 (国立天文台)
- C 52 Characteristics of Two Energetic Solar Flares Observed with Yohkoh : S. R. Kane, J. M. McTiernan, J. M. Loran (Univ. of California, Berkeley), M. Yoshimori (Rikkyo Univ.), and K. Ohki (NAOJ)
- C 53 「ようこう」BCS による軟 X 線 B 級活動性: 渡辺鉄哉, 日江井栄二郎 (国立天文台), Andrzej Fludra, J. Leonard Culhane (MSSL), Barbara J. I. Bromage (RAL) 他 BCS 並びに「ようこう」チーム
- C 54 Yohkoh Bragg Crystal Spectrometer Observations from the Onset of a Number of Flares : R. D. Bentley, J. L. Culhane (Mullard Space Science Laboratory, University College London), S. Tsuneta (Institute of Astronomy, University of Tokyo)
- C 55 YOHKOH BCS Observations of the Flare of November 9, 1991 : A. C. Sterling (CPI, 宇宙研), G. A. Doschek and J. Mariska (NRL), and the Yohkoh BCS Team
- C 56 「ようこう」搭載の BCS によるフレア素過程の解析: 日江井栄二郎, 渡辺鉄哉 (国立天文台), U. Feldman (NRL), K. Phillips, J. Lang (RAL), 他 BCS 及び「ようこう」チーム
- C 57 Spectra of Superhot Plasma Observed by the Yohkoh Bragg Crystal Spectrometer (BCS) During a Small Flare : C. D. Pike (RAL), J. L. Culhane (MSSL), G. Doschek (NRL), A. Fludra (MSSL), E. Hiei (NAOJ), T. Kato (Nagoya), K. J. H. Phillips (RAL), T. Watanabe (NAOJ) and the BCS team

(太陽系)

- C 58 メキシコ日食における太陽コロナの可視域偏光観測 II : 田辺俊彦 (東大理センター), 磯部瑋三, 野口本和, Satheesh Kumar, A. (国立天文台), 圓谷文明 (北大工), Manuel Alvarez (メキシコ国立天文台)
- C 59 ドップラーシフトからみた惑星間塵の運動: 向井 正 (神戸大理), I. Mann (MP-Ae)
- C 60 地球環境のモデリング: 浦田健二 (姫路短大)
- C 61 ペルセウス座流星群のアウトバーストのレーダー観測: 渡部潤一 (国立天文台), 中村卓司, 堤 雅基, 津田敏隆 (京大超高層)
- C 62 Levy 彗星 (1990 c) における NH₂ プロファイル: 栗原 浩 (神奈川工業高校), 鈴木文二 (越ヶ谷高校), 綾仁一哉 (国立天文台)
- C 63 P/Hartley2 (1991t) の CN, C₂ ジェット構造: 鈴木文二 (越ヶ谷高), 栗原 浩 (神奈川工高), 渡部潤一 (国立天文台)
- C 64 1990 年における火星北極地方の極雲の光学的厚さ: 赤羽徳英 (京大飛騨天文台), 岩崎恭輔 (京都学園大), 斉藤良一 (京大花山天文台), 鳴海泰典 (九州東海大工)
- C 65 IRAF を利用した火星極冠の測定ルーチンの作成と 1990 年の火星南極冠の測定: 岩崎恭輔 (京都学園大), 海老沢嗣郎 (惑星物理学研究所)
- C 66 火星ヘラス雲に見られる輝点について: 斉藤良一, 中井善寛 (京大花山天文台), 赤羽徳英 (京大飛騨天文台), 岩崎恭輔 (京都学園大), 鳴海泰典 (九州東海大工)

C 67 微小惑星に対する小惑星帯の構造：中村 士 (国立天文台)

第2日 5月14日(木) 午後1時より 会場C

- C 68 木星の近赤外撮像観測：長谷川 均 (アステック), 上野宗孝, 山下卓也, 渡部潤一, 佐藤修二 (国立天文台)
C 69 衛星イオの周期的火山分布とその形成メカニズム：パターンソン法による球面上の周期解析：山路 敦, 関 宗蔵 (東北大教養)
C 70 天王星の環の近点運動と離心率：古在由秀 (国立天文台)
C 71 制限三体問題におけるあるスケーリング：谷川清隆, 菊地直吉 (国立天文台)

(位置天文学)

- C 72 冥王星の軌道解析：新美幸夫 (国立天文台)
C 73 回折による望遠鏡減光装置の最適設計。I.: 石崎秀晴, 吉澤正則 (国立天文台)
C 74 観測カタログの大域的重ね合わせ整約法：吉澤正則 (国立天文台)

(星間現象)

- C 75 45m 鏡によるオリオン座分子雲サーベイ (VI)：梅本智文¹, 立松健一¹, 平野尚美², 亀谷 收³, 長谷川哲夫⁴, 林 正彦⁵, 岩田隆浩⁵, 海部宣男⁶, 三上人巳⁷, 村田泰宏⁴, 仲野 誠⁸, 中野武宣¹, 大橋永芳^{1,7}, 砂田和良⁴, 高羽 浩⁵, 山本 智¹ (国立天文台野辺山, ²一橋大, ³国立天文台水沢, ⁴東大理, ⁵通総研, ⁶国立天文台, ⁷名大理, ⁸大分大)
C 76 Orion-Monoceros 巨大分子雲 CO ($J = 2 - 1$) 大規模サーベイ (4)：阪本成一 (国立天文台), 長谷川哲夫, 林 正彦, 半田利弘, 岡 朋治 (東大理)
C 77 FCRAO アレイ受信機によるオリオン座大規模マッピング：立松健一, 梅本智文 (国立天文台野辺山), Mark Heyer (FCRAO)
C 78 オリオン座 A 分子雲の C¹⁸O 観測：長濱智生, 水野 亮, 小川英夫, 福井康雄 (名大理)
C 79 オリオンブライトバーの光解離衝撃波領域の干渉計観測：¹面高俊宏, ²村田泰宏, ³林 正彦, ¹北村良実, ³大石雅寿, ²長谷川哲夫 (1: 鹿児島大, 2: 東大理, 3: 国立天文台野辺山)
C 80 「ぎんが」によるオリオン星雲領域の観測：山内茂雄, 小山勝二 (京大理), 「ぎんが」チーム
C 81 オリオン座領域の輝線星の近赤外線測光：仲野 誠 (大分大), McGregor, P. J. (オーストラリア国立大)
C 82 分子雲コアを探るための最良のプロープは何か：福井康雄, 水野 亮, 小川英夫, 長濱智生, 今岡啓治, 大西利和, 坪井 隆, 米倉覚則 (名大理)
C 83 おうし座領域の分子雲コアサーベイ：水野 亮, 大西利和, 長濱智生, 今岡啓治, 小川英夫, 福井康雄 (名大理)
C 84 野辺山ミリ波干渉計によるおうし座赤外線源のサーベイ観測：大橋永芳¹, 川辺良平¹, 林 正彦², 石黒正人¹ (国立天文台野辺山, ²東大理)
C 85 おうし座分子雲における原始星候補天体の分子流サーベイ：平野尚美 (一橋大), 大橋永芳 (国立天文台野辺山), 林 正彦, 長谷川哲夫 (東大理), 田村元秀, Moriarty-Schieven (Caltech)
C 86 暗黒星雲コアの速度構造：山本 智, 三上人巳 (名大理), 斎藤修二 (分子研), 平原靖大 (東大理), 大石雅寿 (国立天文台野辺山), 海部宣男 (国立天文台)
C 87 カシオペア座の暗黒星雲 L1340：尾林彩乃, 佐藤文男 (東京学芸大), 福井康雄 (名大理)

——ポスター・ディスカッション——

第3日 5月15日(金) 午前9時より 会場C

- C 88 カシオペア座領域の¹³CO 広域観測：米倉覚則, 水野 亮, 小川英夫, 福井康雄 (名大理), 尾林彩乃, 佐藤文男 (東京学芸大)
C 89 へびつかい座領域の C¹⁸O ($J = 1 - 0$) 輝線による広域観測：坪井 隆, 今岡啓治, 水野 亮, 小川英夫, 福井康雄 (名大理)
C 90 W49A 分子雲コアの SiO 観測 II：宮脇亮介 (福岡教育大), 林 正彦 (東大理), 長谷川哲夫 (東大理センター)
C 91 NGC7538 分子雲コアの CS($J = 1 - 0$) 輝線による構造：亀谷 收 (国立天文台水沢), 川辺良平, 森田耕一郎, 石黒正人 (国立天文台野辺山), 平野尚美 (一橋大経済)
C 92 ケフェウス・フレア中心領域の¹³CO 雲：佐藤文男 (東京学芸大), 福井康雄 (名大理)
C 93 暗黒星雲 TMC-1 におけるメチルアセチレンの観測：オルト/パラ比および H₂ の運動温度：平原靖大, 増田彰正 (東大理), 海部宣男 (国立天文台), 川口健太郎, 大石雅寿, 石川晋一 (国立天文台野辺山)

- C 94 近傍暗黒星雲における C³⁴S 輝線の観測——CS の存在量と光学的厚み——：三上人巳¹，山本 智¹，斎藤修二^{1,2} (1名大理，2分子研)
- C 95 新星間分子 HCCNC, HNCCC の検出：川口健太郎，高野秀路，大石雅寿，石川晋一，宮澤敬輔 (国立天文台野辺山)，海部宣男 (国立天文台)
- C 96 Sgr B2 方向の Diffuse Molecular Clouds の化学組成：白鳥 裕¹，森本雅樹²，亀谷 收³，平野尚美⁴，J. S. Greaves⁵，G. J. White⁵，川口建太郎²，石川晋一² (1；東大理，2；国立天文台野辺山，3；国立天文台水沢，4；一橋大，5；Queen Mary College)
- C 97 分子流天体 ρOph-East の KNIFE による観測：岩田隆浩，高羽 浩 (通総研鹿島)，松本欣也 (電通大)，亀野誠二 (東大理)，川口則幸 (国立天文台野辺山)
- C 98 Discovery of 4 Outflows in IC5146 Dark Cloud Complex：土橋一仁 (大阪府立大)，岩田隆浩 (通総研鹿島)，水野 亮，大西利和，福井康雄 (名大理)
- C 99 HH83 outflow system の全体構造：杉谷光司¹，佐藤文男²，仲野 誠³，小倉勝男⁴ (1名古屋市立大，2東京学芸大，3大分大教，4国学院大)
- C 100 野辺山ミリ波干渉計 150GHz 試験観測 (I) 星形成領域：村田泰宏，石黒正人，石附澄夫，岩下浩幸，大橋永芳，川辺良平，神沢富雄，坂本 和，柴田克典，鈴木美耶，高橋敏一，中島 潔，半田一幸，G. MucClloch，森田耕一郎 (国立天文台野辺山)
- C 101 野辺山ミリ波干渉計の高周波数化：2 ミリ波帯観測の実現：川辺良平，石黒正人，森田耕一郎，岩下浩幸，中島 潔，神沢富雄，半田一幸，高橋敏一，村田泰宏，服部邦彦，大橋永芳，石附澄夫，鈴木美耶，坂本 和，G. MucClloch (国立天文台野辺山)
- C 102 HL Tau の原始惑星系円盤にガスはあるか？：林 正彦¹，大橋永芳²，観山正見²，中野武宣²，中川義次¹，中本泰史¹，三宅浩太郎¹ (1東大理，2国立天文台)
- C 103 分子雲同志の衝突：木村俊哉，土佐 誠 (東北大)
- C 104 円筒状の星間雲の重力収縮：富阪幸治 (新潟大)
- C 105 回転している星間分子雲の自己重力収縮の動的進化への磁場の影響：太田完爾，羽部朝男 (北大)
- C 106 磁気トルクによる角運動量輸送とジーンズ不安定性：花輪知幸 (名大理)
- C 107 円柱状星間ガス雲の分裂過程 (非線型計算)：犬塚修一郎 (東大理)，観山正見 (国立天文台)
- C 108 フィラメントの分裂と階層構造の形成：中村文隆，花輪知幸 (名大理)，中野武宣 (国立天文台野辺山)

第3日 5月15日 (金) 午後1時より 会場 C

- C 109 減速衝撃波不安定の非線型成長：西 亮一，山田良透 (京大理)
- C 110 原始星降着円盤の重力安定領域：中野武宣 (国立天文台野辺山)
- C 111 原始惑星系円盤に対する伴星の影響：小林謙一 (総研大)，観山正見 (国立天文台)
- C 112 境界層によって照射された原始惑星系円盤：福江 純 (大阪教育大)
- C 113 原始惑星系星雲でのダストの振舞：渡邊誠一郎 (山形大)
- C 114 T タウ型星 ディスクのダスト放射率：三宅浩太郎，中川義次 (東大理)
- C 115 近赤外ファブリペロイメーミング I オリオン KL 分子雲 H₂ 輝線：菅井 肇，片坐宏一，田中培生 (東大理)，川端拓信 (東京学芸大)，井上素子 (早大)，高見英樹，青木哲郎，廣本宣久 (通総研)
- C 116 近赤外ファブリペロイメーミング II オリオンブライトバー領域の H₂，Brγ，Paβ 輝線：白田知史，菅井 肇，片坐宏一，田中培生 (東大理)，井上素子 (早大)，高見英樹，青木哲郎，廣本宣久 (通総研)
- C 117 近赤外ファブリペロイメーミング III 超新星残骸 IC443 の H₂ 輝線：井上素子 (早大)，菅井 肇，片坐宏一，吉田重臣，田中培生 (東大理)，高見英樹，青木哲郎，廣本宣久 (通総研)
- C 118 遠赤外 [CII] 線放射の起源：中川貴雄¹，山下由香利^{1,2}，土井靖生^{1,2}，奥田治之¹，矢島信之¹，芝井 広¹，F. J. Low³，西村徹郎³ (1宇宙研，2東大理，3アリゾナ大)
- C 119 ρOph 領域からの [CII] 放射 II：山下由香利^{1,2}，中川貴雄²，土井靖生^{1,2}，奥田治之²，矢島信之²，芝井 広²，西村徹郎³，F. J. Low³ (1東大理，2宇宙研，3Univ. of Arizona)
- C 120 遠赤外 [CII] 輝線サーベイ観測：Cyg-X 領域の星間雲の存在形態：土井靖生^{1,2}，中川貴雄¹，山下由香利^{1,2}，奥田治之¹，矢島信之¹，芝井 広¹，西村徹郎³，F. J. Low³ (1宇宙研，2東大理，3アリゾナ大)
- C 121 塵の 220 nm 吸収と赤外ピークの関連：坂田 朗，和田節子，成沢孝敏，小野 洋，中川英洋 (電通大)
- C 122 Young Cluster in the Star Formation Cloud：IR Images from PtSi Camera on OAO 188cm：S. S. Hayashi，M. Ueno，T. Yamashita，and PtSi Camera Team (National Astronomical Observatory)

休 憩

- C 123 タウルス領域の過渡期にある YSOs の近赤外高分解撮像および偏光撮像：小林尚人，長田哲也 (京大理)，K. W. Hodapp (ハワイ大 Ifa)
- C 124 反射星雲 NGC7023 の多色表面測光：吉田重臣 (東大理木曾)

- C 125 惑星状星雲 CRL618 の干渉計 CO 観測：柴田克典，出口修至（国立天文台野辺山），平野尚美（一橋大），亀谷 收（国立天文台水沢），田村眞一（東北大理）
- C 126 新しく発見された惑星状星雲の分光解析：田村眞一（東北大理），R. Weinberger（インスブルック大）
- C 127 ハロー惑星状星雲 H4-1 の低分散分光観測：矢動丸 泰，田村眞一（東北大理）
- C 128 Pup A の X 線スペクトルと構造：廿日出 勇（宮崎大工），常深 博（阪大理），他「ぎんが」チーム
- C 129 新超新星残骸（RXO4591+5147）のスペクトル解析：小山勝二，山内茂雄（京大理），「ぎんが」チーム
- C 130 CO (J=2-1) 輝線による銀河面サーベイⅢ：長谷川哲夫，林 正彦，半田利弘，阪本成一，岡 朋治（東大理）
- C 131 CO (J=2-1) line による Galactic Center Region の広域観測Ⅲ—CO (2-1)/CO (1-0) ratio からの示唆—：岡 朋治，長谷川哲夫，林 正彦，半田利弘，阪本成一（東大理）
- C 132 銀河中心領域の近赤外線サーベイ観測Ⅱ銀河中心領域の EXTINCTION マップ：上野宗孝，三浦 均，佐藤修二（国立天文台），市川 隆（東大理センター）
- C 133 高銀緯分子雲内の磁場と塵粒子：関 宗蔵，梅本智文¹，松村雅文²，高木健一郎^{3,4}，河原 稔³（東北大教養，¹国立天文台野辺山，²香川大教育，³東北大理，⁴毎日新聞社）
- C 134 高銀緯分子雲の物理状態について：河原 稔，竹内 峯（東北大理），関 宗蔵（東北大教養）

ポスターセッション（地下2階）

- P 1 自己重力の働いた降着円盤からの風：岡本千勢，福江 純（大阪教育大）
- P 2 自己重力の働いている降着円盤の構造：坂本千洋，福江 純（大阪教育大）
- P 3 NGC1068 の表面測光：兼古 昇，篠原宗弘（北大理），外山清高（北海道情報大），佐藤哲也（栗山高校），岡村定矩（東大理），浜部 勝（東大理木曾），大谷 浩，吉田道利（京大理），佐々木実（下関市立大）
- P 4 銀河系バルジの速度構造：小野智子，泉浦秀行（東京学芸大）
- P 5 SiO メーザー輝線による銀河系バルジの速度構造の研究Ⅱ：泉浦秀行，小野智子（東京学芸大），中田好一，山村一誠，尾中 敬（東大理），浮田信治，出口修至（国立天文台野辺山），橋本 修（成蹊大），関口和寛，P. Whitelock, R. Catchpole (SAAO)
- P 6 OH メインラインメーザーの新しいポンプ機構：出口修至（国立天文台野辺山），W. D. WATSON（イリノイ物理）
- P 7 へびつかい座分子雲の C¹⁸O 観測：内藤茂樹，沢 武文（愛知教育大），坪井 隆，福井康雄（名大理）
- P 8 Magnetic Fields in Protostar Disks. I. : M. Tamura (Jet Propulsion Laboratory), J. H. Hough (Hatfield Polytechnic), S. S. Hayashi and T. Yamashita (National Astronomical Observatory), W. D. Duncan (Joint Astronomy Centre)
- P 9 星形成領域での階層性の伴う構造の解析手法の開発：志田 敬，花見仁史（岩手大人文）
- P 10 偏光の波長依存性 V. S. (偏光を起す)ダストのサイズの上限と下限：周藤浩士，寒川尚人，長田哲也（京大理）
- P 11 食連星 BO—Pegasi の測光観測：小林英之¹，尾久士正巳²，石田俊人²，佐藤隆夫²，定金晃三¹（¹大阪教育大，²西はりま天文台）
- P 12 食連星 HU Tau の光度曲線解析：伊藤芳春，中村泰久，山崎篤磨（宮城・角田女子高，福島大教育，防衛大）
- P 13 AC Her の脈動の特性について：田中靖夫（茨城大教育），竹内 峯（東北大理）
- P 14 惑星状星雲 NGC1501 中心星の測光観測：佐藤隆夫，尾久士正巳，時政典孝，黒田武彦，石田俊人（西はりま天文台）
- P 15 高速回転する大質量星の構造：羽田 亨，橋本正章（九大教養），江里口良治（東大教養），斉尾英行（東北大理），山岡 均（東大理）
- P 16 5GHz 帯でのミリ秒パルサー観測：平尾淳一，河島信樹，平林 久，塚本正樹，藤沢健太（宇宙研）
- P 17 宇宙トラス：見え方と光度曲線：山中考一，福江 純（大阪教育大），古久保 学（NTT）
- P 18 黒点相対数とフレアの発生数の相関について：入江 誠，佐野一成，日江井栄二郎（国立天文台）
- P 19 1991年8月13日のDB現象：久保田 諄（大阪経大），秋岡眞樹（通総研平磯），パフティアル・アンワル（京大理）
- P 20 コロナ面回転反転モデルによる南北型コロナ流の解釈：小塚幸央，小島正宜（名大STE研），沼澤茂美（JPL），斎藤尚生（東北大理）
- P 21 多層膜反射鏡の X 線紫外線天体観測への応用（S-520-13号機による観測）：山口朝三（国立天文台），山下広順（宇宙研），北本俊二，高浜慎一郎（阪大理），廿日出 勇（宮崎大工），高橋進一，大谷正之（ニコン）
- P 22 モザイク回折格子の試作：牧田 貢，中井善寛，船越康宏（京大理），山下泰正，安藤裕康，今井英樹（国立天文台），森本二郎，三浦孝治，松川英二，山下信哉，勝沼 淳（ニコン）
- P 23 すばる望遠鏡の山頂施設：宮下暁彦，野口 猛，すばるプロジェクト室（国立天文台）

- P 24 大型アレイアンテナの制御システムとそのポインティング：渡辺直企，中島潤一，乙部英一郎，荒蒔義孝，大師堂経明（早大理工，教育），遊馬邦之（草加高校）
- P 25 BS アンテナを利用した加算型電波干渉計：大坪貴文，高見道弘，高山隆児，東矢高尚，西田伸二，林 正彦，長谷川哲夫，小杉健郎（東大理）
- P 26 リアルタイム画像検索表示ルーティンIMB：佐々木敏由紀（国立天文台岡山）
- P 27 パーソナルコンピュータでの画像表示，演算ソフトの開発：時政典孝（西はりま天文台）
- P 28 パソコンで体験する現代天文学：藤原隆男（京都市立芸大），福江 純（大阪教育大），岡田理佳（東京都立大 理），田中憲明（学習院大理）
- P 29 本格化する公共天文台の観測設備：黒田武彦，尾久土正己，石田俊人（西はりま天文台）

会場への交通案内及び大阪学院大学構内図

- 岸辺・正雀両駅とも各停のみ停車。
- 岸辺・正雀両駅とも年会場（5号館）まで徒歩8分です。
- 外来者用の駐車場の用意はありません。なるべく電車でご来場下さい。
- 当日も、大学の通常の講義等が行なわれておりますので、指定された通路（2号門経由）のみご通行下さい。

